

# あしたに向かって～行くのが楽しくなる学校～

## <11月(いのちの授業)を行いました>



<1年生:「あたらしいいのち」>  
新たに生まれてくるいろいろな動植物。それらの心の声を想像することで命の大切さに気づき、命を大切にしていくことを学習しました。

### <2年生:「たんじょう日」>

お母さんからもらった大切ないのち。おうちの人からの手紙を読んで、自分が生まれてくる時、家族が楽しみにしていることを知り、たくさんの人に支えられているいのちを大事にすることを学習しました。



### <3年生:「いただいたいのち」>

突然の病気に負けず、懸命に治療を続けて、元気になるまでのことを綴った少女の手紙。お母さんからの「あなたの命はたくさんの人にいただいたのよ。」という一言の意味をみんなで考えることで、私たちの命は、たくさんの人に支えられていることに気づきました。

### <4年生:「ぼくの生まれた日」>

のび太が怒られたことをきっかけに過去に戻り、誕生した時の両親の様子を見て自分が家族にとってかけがえない存在であるとあらためて気づきました。



### <5年生:「命のアサガオ」>

病気と闘いながら精いっぱい生きようとした男の子。男の子の思いを「命のアサガオ」として受け継ぎ、広めていこうとしたお母さん。命は周りの人々のたくさんの思いや支えを受けていることに気づきました。

### <6年生:「たったひとつのたからもの」>

「人の幸せは命の長さではない」短い人生でも懸命に生きていく人のつよさを感じることができました。

